

## 総合計画市民検討協議会 第3回報告書 (文化・学習部会)

<b>記録者</b>	小柳 淳一	<b>場所</b>	市役所北庁舎第1～3会議室	
<b>開催日時</b>	平成24年2月18日(土) 午前9時30分～午前11時55分			
<b>出席者 (11名)</b>	安藤 晴子	小野澤 せつ子	齊藤 千穂	酒井 千香
	笹野 晶子	内藤 まり	松山 貴行	山内 啓司
	國分 大樹	小柳 淳一	斎藤 麻美	
<b>傍聴者</b>	なし ( )			

<b>基本目標</b>	Ⅲ 人と文化をはぐくむまちづくり (文化・学習)
<b>基本施策</b>	5 スポーツ活動の支援

### めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)

#### ○大人も子どもも高齢者も障がい者も、すべての市民がスポーツに親しんでいます。

- ・市民は年齢や性別にとらわれず、また健常者も障がい者も区別なくみんなでスポーツを楽しんでいます。
- ・さまざまなスポーツを楽しめて、高齢者や障がい者にも使いやすいスポーツ施設が整備されています。
- ・スポーツを始めたいときの相談体制が整っていて、指導者やサークルの紹介等、またサークルの設立等を手助けしてくれます。

#### ○スポーツのまち「府中市」。市全体でスポーツを楽しみ、交流を図り、一体となって盛り上がっています。

- ・トッププロプレイヤー達が、世界最高峰の技を競い合い、市民は一体となり応援をし、喜びを分かち合っています。
- ・スポーツの分野だけでなく、介護の分野、観光の分野、環境の分野、教育の分野等、さまざまな分野からスポーツの普及啓発を行っています。

### 主な課題

#### 1) だれもがスポーツを楽しめる場の整備が課題

- ・施設面では、施設数は充実していると思われるが、障がい者や高齢者にも使いやすい構造等になっていることが必要である。
- ・市の施設の他に、大学や企業が持つ施設の有効活用を図り、様々なスポーツに対応できる施設の確保が必要となる。

#### 2) スポーツを始めるきっかけづくりが課題

- ・スポーツというと敷居が高く感じられるので、日常の生活の中で出来るスポーツの紹介。
- ・市内のトッププロや市にゆかりのある著名な選手等を招き、市民とのふれあいの場、指導の場、観戦の場を設け、プロスポーツのすごさを体感してもらうとともに、ふれあう場を作ることでスポーツに親しみ、興味を持ってもらうことが必要。

- ・国体等の全国的なイベントを契機とし、スポーツに親しむ場をつくる。

### 3) スポーツを親しむイベントの実施及びPRが課題

- ・スポーツを身近に感じてもらうためのイベントを実施することが重要となる。また、イベントの趣旨や内容等を広く周知し、大勢の市民に来てもらえるようにすることが課題。

### 4) スポーツに対する指導と支援

- ・スポーツ団体への会場の確保や指導者の紹介などスポーツ団体への全面的及び側面的な支援が必要。またスポーツ指導者や運営協力者等ボランティアへの支援も必要。

## 役割分担の考え方

### 【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

#### 1) 手軽なスポーツから始めてみる。

- ・本格的なスポーツは敷居が高く、取り組みづらい。またスポーツの重要性は理解できるものの始めの一步を踏み出すことはなかなか難しい。そこで手軽に行えるウォーキング等のスポーツから、出来る範囲で始めてみる。

#### 2) スポーツのイベントに参加する。

- ・スポーツのイベントはスポーツを始める第一歩となるので積極的に参加する。

#### 3) 指導者や運営（協力）者としてスポーツに参加する。

- ・スポーツの経験を生かして、指導者としてスポーツを行いたい人への指導を行い、スポーツの楽しさ等を大勢の人へ伝える。
- ・スポーツの経験がなくても、スポーツイベント等に協力者として参加して、スポーツ活動やイベントを盛り上げていき、大勢の人たちへスポーツの楽しさ等を伝えていく。

### 【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

#### 1) スポーツに関する情報の提供、実践の場づくり

- ・スポーツに関する相談体制の構築。スポーツを始めたい、スポーツを指導したい、スポーツできる場所を教えてくださいなどの相談にすぐに対応できる体制の構築が必要。
- ・スポーツを指導する人、又はサークル等を運営する人に対し、指導法や運営に関する講演等を開催し、指導者等への支援を行うことが必要。

#### 2) スポーツ施設の整備

- ・各種事業に対応できる施設の整備を行うとともに、施設の老朽化等を踏まえ、地域への適正な配置やユニバーサルデザインを取り入れた誰でもが使いやすい施設の整備が必要。

### 3) スポーツイベントの実施及びPR

- ・全市的なスポーツイベントの実施。市にゆかりのある人や団体等を招いてスポーツに関するイベント等を実施する。市民に対し参加者としてはもちろん、協力者としても参加を呼びかけ、市全体で楽しめるイベントの開催が必要。
- ・新しいスポーツの普及啓発、市オリジナルのスポーツ等を開発し、手軽にできる身近なスポーツとして広く普及を図り、市民全体にスポーツを親しんでもらえるようにすることが必要。

### 4) 都や企業・学校等との連携

- ・近隣にある都の施設や、市内にある企業及びプロスポーツ団体、市内の学校等と連携し、施設の供用化やスポーツイベントの開催（プロ選手とのふれあい）、体験会などを開催し、スポーツと触れ合う機会を増やすことが必要。

### その他 提案事項

(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)

### 事務局への連絡事項

## 総合計画市民検討協議会 第3回報告書 (文化・学習部会)

<b>記録者</b>	小柳 淳一	<b>場所</b>	市役所北庁舎第1～3会議室	
<b>開催日時</b>	平成24年2月18日(土) 午前9時30分～午前11時55分			
<b>出席者 (11名)</b>	安藤 晴子	小野澤 せつ子	齊藤 千穂	酒井 千香
	笹野 晶子	内藤 まり	松山 貴行	山内 啓司
	國分 大樹	小柳 淳一	斎藤 麻美	
<b>傍聴者</b>	なし ( )			

<b>基本目標</b>	Ⅲ 人と文化をはぐくむまちづくり (文化・学習)
<b>基本施策</b>	8 コミュニティの形成

### めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)

○地域のコミュニティが機能して、あいさつが交わされ、困ったときにはお互いに助け合えるコミュニティが形成されています。

- ・地域コミュニティが機能していて、地域の人たちみんながあいさつを交わしています。
- ・あいさつを通じて地域全員が知り合いです。
- ・誰かの姿が見えないときにはみんなが心配しあうまちになっています。

○地域コミュニティだけでなく、NPO活動や趣味のサークルといった目的別のコミュニティが形成され、さまざまな形で人と人とが笑顔でふれあうまちになっています。

- ・地域コミュニティだけでなく、NPO活動や趣味のサークルなど、さまざまな形でのコミュニティが形成されている。
- ・複数のコミュニティが形成されているため、誰もが何らかのコミュニティに参加していて、人とのつながりがあります。

### 主な課題

#### 1) 地域コミュニティへの積極的な参加を求めることが課題

- ・転入者及び仕事等でコミュニティ活動に参加していくのが難しい人に対して、いかに呼びかけていくかが課題。
- ・地域コミュニティ参加者に対し、コミュニティ活動(地域まつり・防災訓練等)への参加について理解を求めていくことが大切。

#### 2) 地域コミュニティ以外のコミュニティへの参加を求めていくことが課題

- ・地域コミュニティ以外にもコミュニティがあることを周知し、参加を呼びかけていくことが大切。
- ・NPO活動等のコミュニティについて、コミュニティ活動の各種支援や参加希望者への情報提供等が必要。

### 3) コミュニティの活性化が課題

- ・コミュニティに新しい人、若い世代の人の参加がないと次第に閉鎖的になりがちとなってしまう。いかに新しい人を迎え、活動を活性化していくかが課題。

### 4) ハード面の確保が課題

- ・NPO等のコミュニティ団体が増えることにより活動場所となる施設の不足及び利用が競合していきことが課題。

## 役割分担の考え方

### 【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

#### 1) あいさつから始めてみる

- ・あいさつはコミュニケーションの第一歩。あいさつを通じて係わり合いを深めていくことが必要となる。そこで積極的にあいさつを行い、交流を深めていく。

#### 2) イベントへの積極的な参加

- ・大勢の人が集うイベントは交流が生まれやすいもの。イベントに積極的に参加し、たくさんの性別や世代の違う人たちとの交流を深めていく。

#### 3) 地域コミュニティの積極的なPR

- ・地域コミュニティは古くからのしがらみや歴史伝統等を重んじるところがあるため、新しい人たちには入りにくい場所となりがちとなる。そこで地域コミュニティ側から新しい人を受け入れるように積極的に取り組んでいくことが必要。
- ・地域イベント等を行う際、近隣住民等に積極的に参加を呼びかけて、参加を促していく。

#### 4) 趣味を通じたコミュニティの創設、参加

- ・趣味や活動等が共通する人たちでコミュニティを創設し、またそのコミュニティ同士で交流していくことによりコミュニティの輪を広げていくようにする。

### 【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

#### 1) 地域コミュニティのPR

- ・地域コミュニティについて、広報やさまざまな媒体を通じてPRし、また地域コミュニティに参加することのメリット等を周知していく。

#### 2) コミュニティ団体の広報・周知

- ・コミュニティ団体の活動状況等を広報やさまざまな媒体を通じてPRし、コミュニティ団体への参加について促していく。

#### 3) コミュニティ団体への支援

- ・コミュニティ団体の多くは、ボランティアや会員の会費等で運営をまかなっていて、財政面及び運営面で不十分などが多い。団体運営やイベント実施時等の財政的な支援や印刷機器貸

出等の支援を行う。また運営面について適切なアドバイス等のできる相談制度等の支援を行っていく。

#### 4) コミュニティから漏れている人への救済

- ・何らかの理由によりコミュニティから漏れてしまった人に対し、コミュニティへの参加や各種団体の案内等を行う。

#### 5) イベントの実施

- ・各種イベントを実施し、コミュニティ団体の案内やコミュニティの大切さのPRをし、コミュニティ参加へのきっかけづくりを担う。

#### 6) 施設利用の整備

- ・コミュニティ活動が増え、活性化してくると、活動場所となる施設が不足することが予想される。新たな施設整備が必要となる。またルールを設け、公平な施設使用ができるようにする。

#### その他 提案事項

(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)

- ・大学との連携をうまく活用して文化学習活動の活性化を図る。

#### 事務局への連絡事項